



[長期環境戦略] みんなでECO.

お客様や沿線地域とともに目指す、2020年度に向けた環境への取り組み

進捗報告

東京メトログループは、首都東京の都市機能を支える鉄道事業者として、2020年度に向けて、長期的かつ戦略的に、お客様や沿線地域とともに東京の環境負荷低減につながるさまざまな

取り組みを実施していくための長期環境戦略「みんなでECO.」を策定しています。これは、3つのテーマに基づき、積極的な環境保全活動を展開するものです。

3つのテーマに基づいた環境保全活動

東京メトロ自らのエコ化

エネルギー消費が少ない車両や機器の導入、再生可能エネルギーの活用による地球温暖化防止、リサイクル・リユースや資源の効率的な利用による廃棄物削減、振動・騒音の低減などの取り組みをこれまで以上に積極的に推進し、事業活動における環境負荷を可能な限り低減していきます。

【主な施策】

- 地球温暖化防止
 - 鉄道事業の省エネ化
 - 関連事業の省エネ化
 - 再生可能エネルギーの活用
- 廃棄物の削減、資源消費の削減
- 騒音・振動の低減
- 環境汚染の予防

* 詳細については、P.39～42をご参照ください。



銀座線 1000系車両

東京メトロを使ってエコ

自らの環境負荷低減に並行して、東京メトログループ中期経営計画「東京メトロプラン2015」で掲げる「安全で質の高い鉄道サービスの提供」を着実に推進していきます。これにより、地下鉄の利便性向上を図り、より多くのお客様に安心してご利用いただくことで、環境負荷を可能な限り低減していきます。

【主な施策】

- 公共交通の利用促進
 - 円滑な移動の実現、バリアフリー設備整備の推進
 - 環境負荷の少ない地下鉄の利用促進
 - 情報発信ツールを活用した適時適切な情報の提供

* 詳細については、P.17～22、P.43をご参照ください。



エレベーター

沿線地域とエコ

「東京とともに成長する」との観点から、沿線地域と連携した環境保全活動を推進していくことで、東京に集う人々の活き活きとした毎日に貢献していきます。

【主な施策】

- 地域連携による環境保全
 - 沿線地域と連携した環境保全活動の実施
 - 沿線地域の環境緩和、生物多様性の保全

* 詳細については、P.44をご参照ください。



沿線地域とエコ 地域清掃活動

2020年度に目指す姿

東京メトログループでは「安全で質の高い鉄道サービスの提供」を着実に推進する一方で、省エネルギー施策に積極的に取り組むことにより、2020年度の鉄道事業における総エネルギー使用量を2009年度*実績より増加させないことを目標としています。

- 「東京メトロを使ってエコ」における利便性向上の施策や、近年の気候変動により、何も対策を講じなければ、エネルギー使用量はより増加していくことが想定されます。
- そこで、「東京メトロ自らのエコ化」で掲げる積極的な省エネルギー施策に取り組むことで、2009年度実績(9,983千GJ)より増加させないよう努めます。

* 2009年度は現在の9路線が年間を通じて稼働した初年度です。

▶ 鉄道事業におけるエネルギー使用量の目標と実績

